

# WINTER ART GARDEN

冬の環境造景展「地球との対話」

参加作家

岡部 俊彦

米田 昌功

造景チームTOPOS



2015.12.12 sat — 2016.2.21 sun

会場

作品展示: アートガーデン(アートハウスおやべ建物周辺)

記録展示: オープンギャラリー・情報コーナー(アートハウス建物内)

主催/アートハウスおやべ冬の環境造景展実行委員会

後援/小矢部市教育委員会 小矢部市芸術文化連盟

北日本新聞社 富山新聞社 読売新聞社 北陸中日新聞

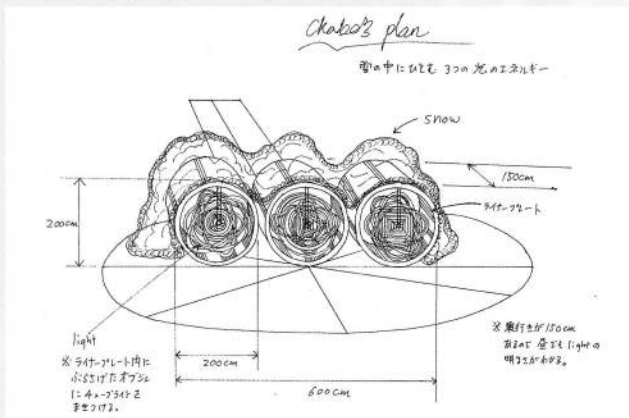
協力/小矢部市建設業協会 富山県電気工事工業組合(小矢部地区) 小矢部市緑化造園土木協会



アートハウス おやべ

# WINTER ART GARDEN

## 冬の環境造景展「地球との対話」



アートの力で北陸の冬を明るく楽しいものに変えるねらいから、アートハウス周辺のスペースを活用して WINTER ART GARDEN 冬の環境造景展「地球との対話」を開催します。

作家が作った造形は冬の気象によって、さまざまにその姿が変化します。特に雪が降ると造形の様相は大きく変化し、自然との協働作品となります。

会期中、そのような地球との対話とも言える変化の様相を写真や映像で記録し、アートハウス内で展示しますので、その多彩な姿をお楽しみください。

今回は、造形の資材や設営について地元の土木、建築、電気、造園関係団体の協力をいただいたことに感謝いたします。

### 岡部 俊彦 (砺波市)

#### 「光輝明希望器 (こうきめいきぼうき)」

- 円形の造形の中で光る、「星・結晶・希望の光」のイメージです。
- 円形の造形の奥行きは1.5mなので、昼でも日陰になり、光って見えます。
- 上に雪が積もることも造形の一部です。
- 雪のかまくらの中に3つの光が存在する情景を演出します。

### 米田 昌功 (富山市)

#### 「鎮魂之輪絵図屏風 (たましすめのわえずびょうぶ)」(二曲一双)

- 霊的な図像によって永遠を粹(輪供)の中に閉じ込め、作品の中を通る人、関わる人の魂を鎮める装置です。
- 屏風の形を選んだのは、屏風が開閉、伸縮によって絵のエネルギーを放ったり保管したりする独特の機能をもっているからです。また、屏風それ自体の形状が宇宙や大地に満ちる波長を形象化したようなエネルギーをもっています。

### 造景チームTOPOS (小矢部市)

#### 「冬の杜 (ふゆのもり)」

- 「人間は自然の中にどれだけ入っていけるだろうか。人間は自然をどれだけ表わせるだろうか。自然は完璧だ。人間など及びもしない。」(レオナルド・ダ・ヴィンチ)
- 人間は自然の一部でしかなく、すべての生き物が必要不可欠な仲間であることを忘れてはならない。
- 大切に身近な自然・鎮守の杜への感謝をこめて、この、雪と曇りの日が多い小矢部の冬に、明るくて妙なる「杜(もり)」を作ってみよう。